

エコアクション21環境経営レポート

〈対象期間2023年6月1日～2024年5月31日〉

【2023年度改】



タチバナ建設株式会社

発行日

2024年12月18日

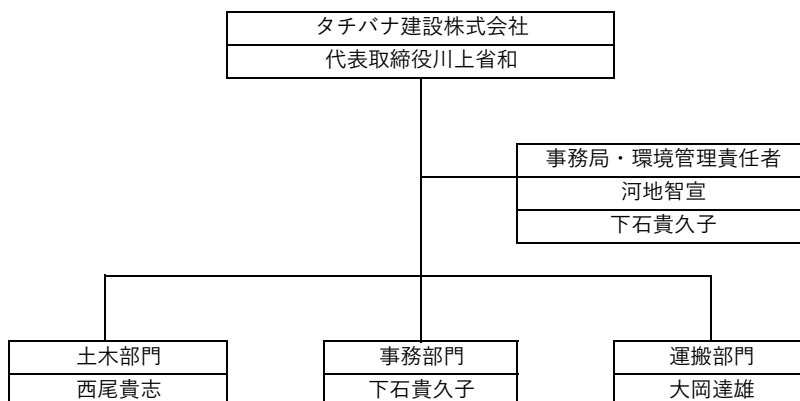
目次

	頁
1 組織の概要	1
2 環境経営システム組織図	2
3 環境経営方針	3
4 ①環境経営目標 (2021年度から2023年度)	4
②環境経営目標 (2024年度から2026年度)	5
5 環境活動計画	6
6 環境目標に対する実績	7
7 環境活動計画に対する実績と次年度の取組計画	8
8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9
9 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し	10

1. 組織の概要

事業所名	タチバナ建設株式会社
代表者名	代表取締役 川上省和
本社	〒470-0352 愛知県豊田市篠原町五反田4 - 1
三好営業所	〒470-0202 愛知県みよし市三好丘6丁目1番地の3
環境管理責任者 (連絡担当者)	河地智宣
連絡先	TEL (0565) 48 - 2752
	FAX (0565) 48 - 2751
	E-mail mail@tachibana-construction.co.jp
設立年月日	1989年1月6日
事業内容	一般建設業、建設材料販売、一般貨物運送業
事業年度	6月～翌年5月
事業規模	売上171838(千円) (2023年6月～2024年5月)
従業員数	17名
敷地面積(事務所)	72㎡
事業許可証	・建設業許可 愛知県知事(般-13)第58340号 ・一般貨物運送業 ・産業廃棄物収集運搬業許可* (※ 自社工事分の収集運搬に使用します) 【愛知県】 第02300067494 【名古屋市】 第6400067494 【豊田市】 第0900067494
エコアクション21対象範囲	全組織・全活動を対象とする。

2. 環境経営システム組織図



(注) エコアクション21の活動は、全組織・全活動を対象に取り組んでいます。

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営方針を策定し、全社員に周知する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境経営システムに必要な資源（人材・設備・費用）を準備する。 ・環境経営レポートの評価・承認及び次年度に向けての見直し ・代表者の全体評価と見直し
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用し、常に維持・管理。 ・環境経営活動の取組状況を常に代表者報告する。 ・各部門長に対して、必要な計画、指示、指導等を行う。 ・EA 2 1 関連文書及び記録類の分析・維持・管理 ・外部からの苦情等の受付
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA 2 1 推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 ・「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境問題の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

<経営方針>

弊社は、土木工事並びに運搬業務において、継続的な環境保全活動を断続的に実施することにより、地球環境正常化の一助となることを目指します。

<行動指針>

1. 環境に関する法規制・条例及びその他要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定め、継続的改善に努めます。
3. 省エネルギー・省資源・節水に努めます。
4. 廃棄物の削減を推進します。
5. 環境に配慮した建設・施工に努めます。
6. 全従業員に環境方針を周知徹底、環境問題の意識向上を図ります。

制定日：2017年6月1日

タチバナ建設株式会社
代表取締役 川上省和

4. ①環境経営目標（2021年度から2023年度）

・2020年度を基準年として弊社は、事業活動により生じる環境負荷の中でも、特に影響の大きい項目として、下記事項を重点的に取り組みます。

項目	単位	項目	基準年度	2021年度		2022年度		2023年度	
			2020年度	2021.6-2022.5		2022.6-2023.5		2023.6-2024.5	
			2020.6-2021.5	目標	削減	目標	削減	目標	削減
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	目標	317,663	314,486	99%	311,310	98%	308,133	97%
電気使用量の削減*	kWh	目標	10,145	10,044	99%	9,942	98%	9,841	97%
ガソリンの使用料削減	ℓ	目標	6,476	6,411	99%	6,346	98%	6,282	97%
軽油の使用料削減	ℓ	目標	115,364	114,210	99%	113,057	98%	111,903	97%
水道使用量の削減	m ³	目標	256	253	99%	251	98%	248	97%
産業廃棄物の削減*	t	目標	—	1,128	99%	1,117	98%	1,094	97%
	%	リサイクル率	95%以上						
一般廃棄物の削減	t	目標	0.47	0.465	99%	0.461	98%	0.456	97%
社会貢献活動	件	目標	地域社会とのコミュニケーション ・会社前国道清掃活動（月1回実施）						
環境に配慮した施工		目標	リサイクル資材の活用・リサイクル資源の積極的な活用と提案						

* 電気のCO2換算係数は「[※]」の2020年度調整後排出係数 0.503kg-CO2/kWhを使用。

* 産業廃棄物は建設受注量との関係もあり、実績値は把握するが、目標の主眼はリサイクル率とする。

* 建設現場の廃棄も含めた産業廃棄物の実績値は2021年度より記録。

4. ②環境経営目標（2024年度から2026年度）

・過去3年間（2022～2023年度）の実績値をベースに、2024年度以降は以下の目標を設定し取組みます。

項目	単位	項目	基準値	2024年度		2025年度		2026年度	
			過去3年間の 実績値ベース	2024.6-2025.5		2025.6-2026.5		2026.6-2027.5	
				目標	削減	目標	削減	目標	削減
二酸化炭素 排出量の削減	kg- CO2	目標	311,100	307,989	99%	304,878	98%	301,767	97%
電気使用量 の削減*	kWh	目標	10,800	10,692	99%	10,584	98%	10,476	97%
ガソリンの 使用料削減	ℓ	目標	3,500	3,465	99%	3,430	98%	3,395	97%
軽油の使用 料削減	ℓ	目標	115,400	114,246	99%	113,092	98%	111,938	97%
水道使用量 の削減	m ³	目標	349	346	99%	342	98%	339	97%
産業廃棄物 の削減*	t	目標	500	495	99%	490	98%	480	97%
	%	リサイ クル率	95%以上						
一般廃棄物 の削減	t	目標	0.468	0.463	99%	0.459	98%	0.454	97%
社会貢献活 動	件	目標	地域社会とのコミュニケーション ・会社前国道清掃活動（月1回実施）						
環境に配慮 した施工		目標	リサイクル資材の活用・リサイクル資源の積極的な活用と提案						

* 電気のCO2換算係数はグリーンP7の2021年度調整後実排出係数 0.486kg-CO2/kWhを使用。

* 産業廃棄物は建設受注量との関係もあり、実績値は把握するが、目標の主眼はリサイクル率とする。

* 建設現場の廃棄も含めた産業廃棄物の実績値は2021年度より記録。

6 環境活動計画・取組内容

通年

取組項目	2023年度(2023.6-2024.5) 環境経営計画・取組内容	担当者	確認者
二酸化炭素排出量の削減	・電気、燃料（ガソリン、軽油）等の削減	運輸	環境管理責任者
電力使用量の削減	・空調温度の適正化 (冷房 28℃ 暖房 20℃) ・不要な空調・照明は使わない。 ・昼休みの消灯 ・不要照明の消灯	事務	環境管理責任者
燃料（ガソリン、軽油）の使用量削減	・エコドライブの実施 ・アイドリングストップの実施 ・効率的な運行ルートで走行 ・適切な車両整備の実施	運輸	環境管理責任者
水道使用量の削減	・出しっぱなしの禁止	事務	環境管理責任者
産業廃棄物の削減	・廃棄物の分別の実施	土木 事務	環境管理責任者
一般廃棄物の削減	・紙使用量の削減	事務	環境管理責任者
社会貢献活動	・国道沿いの清掃	全員	環境管理責任者
環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用・リサイクル資源の積極的な活用と提案	全員	環境管理責任者

環境管理責任者は4半期ごとに環境負荷の実績値を確認しながら必要に応じ改善指示を行う。

6. 環境経営目標に対する実績

活動期間 2023年度 (2023.6-2024.5)				
項目	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	308,133	287,994	○
電気使用量の削減	kWh	10,476	11,665	×
ガソリンの使用量削減	ℓ	3,395	3,098	○
軽油の使用量削減	ℓ	111,938	106,546	○
水道使用量の削減	m ³	248	319	×
産業廃棄物の削減 実績値＊/リサイクル率	t	1,094	314	○
	%	95%以上	100%	○
一般廃棄物の削減	t	0.456	0.508	×
社会貢献活動	回	国道沿いの清掃 4回/年実施	国道沿いの清掃 4回/年実施	○
環境に配慮した施工	-	-	再生砕石（あいくる 材）の使用を優先 1286 t	○

△：基準年よりは削減

＊電気のCO2換算係数はグリーンパワ-の2020年度調整後排出係数 0.503kg-CO2/kWhを使用。

7. 環境活動計画に対する実績と次年度の取組計画

取組項目	2021年度取組内容	評価	次年度の取組内容	担当者	確認者
二酸化炭素排出量の削減	・電気、燃料（ガソリン、軽油）等の削減	○	継続実施	運輸	環境管理責任者
電力使用量の削減	・空調温度の適正化 （冷房28℃ 暖房20℃） ・不要な空調・照明は使わない。 ・昼休みの消灯 ・不要照明の消灯	○	継続実施	事務	環境管理責任者
燃料（ガソリン、軽油）の使用量削減	・エコドライブの実施 ・アイドリングストップの実施 ・効率的な運行ルートで走行 ・適切な車両整備の実施	△	継続実施	運輸	環境管理責任者
水道使用量の削減	・出しっぱなしの禁止	△	継続実施	事務	環境管理責任者
産業廃棄物の削減	・廃棄物の分別の実施	○	確実な廃棄物排出量の記録と届出（豊田市）	土木事務	環境管理責任者
一般廃棄物の削減	・紙使用量の削減	△	継続実施	事務	環境管理責任者
社会貢献活動	・国道沿いの清掃	○	継続実施	全員	環境管理責任者
環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用・リサイクル資源の積極的な活用と提案	○	リサイクル資材の使用記録	土木事務	環境管理責任者

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

遵守評価日 2024年10月26日

関係する法律

遵守評価者

河地智宣

関係する法令等の名称		適用事項	評価結果
大気	フロン排出抑制法	☒ 空調機の簡易点検	○
		☐ 引取証明書による回収・破壊の工程の確認	-
水質	浄化槽法	☒ 定期点検・定期検査の実施	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	☒ 産業廃棄物処物収集運搬業の許可	○
		☒ 産業廃棄物運搬実績報告書の提出	○
		☒ 保管基準の遵守（表示、衛生管理等） 表示：60cm角以上、種類、氏名・連絡先	○
		☒ 許可業者に委託（産廃は契約）	○
		☒ 産業廃棄物管理票交付・返送遅延時の届出	○
		☒ 産業廃棄物管理票等状況報告書(6月末)	○
	豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	☒ 廃棄物処理の委託における確認等	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	☒ 特定建設資材の分別解体 ☒ 再生資源利用計画書、実施届	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	☐ パソコンのリサイクル化	-
騒音・振動等	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	☐ TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	-
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	☐ 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	-
	県民の生活環境保全等に関する条例	☐ 特定建設作業（バックホー・トラクタショベル等）の実施の市町村への届出	-
		☐ 特定建設作業（プレーカー、杭打機等）の実施の市町村への届出	-
		☒ アイドリングストップ	○

1) 違反について

関係当局よりの違反等の指摘も3年間ありません。また、内部評価においても法令等の違反がないことを確認しました。

2) 訴訟・苦情について

地域住民から苦情も訴訟等過去3年間ありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直し・指示

2024年10月26日

【環境管理責任者による今年度の振り返り】 環境管理責任者 河地 智宣

毎年少しずつではありますが、従業員1人1人が環境に対して意識して取り組んでいる。今後もこの意識を変えずに取り組んでいきたい。

【代表者コメント】 代表取締役 川上省和

2017年7月よりエコアクション21の取り組みをスタートし約8年、光熱費、燃料費の経費削減と環境負荷の低減に努めてまいりました。

基本方針には、継続的な改善活動を実践し、更なる経費の圧縮と環境負荷の低減をはかることと致しました。活動自体は徐々に定着化しているものと思われませんが、過去の実績値の推移を整理し振り返ることにより、さらなる継続的な改善に務めたいと思います。

今後も環境負荷減が弊社の社会的責任のひとつと考え、この活動に取り組んでいきます。

【各項目の評価と指示】

環境経営方針	変更の必要性	有り	無し	
環境経営目標	変更の必要性	有り	無し	実態に合わせて策定する
環境経営計画	変更の必要性	有り	無し	
実施体制	変更の必要性	有り	無し	